

第3号

はんの木だより

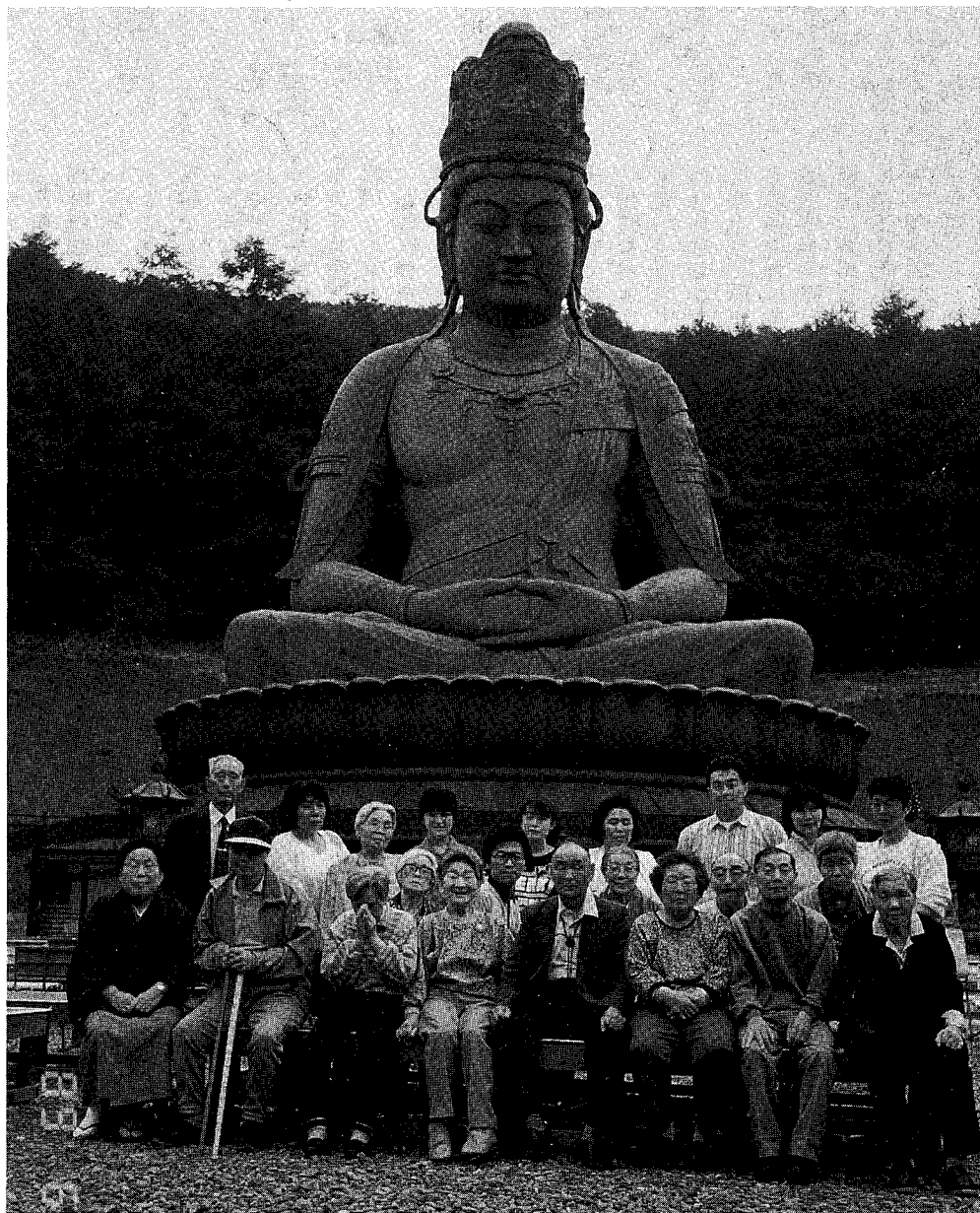
発行

特別養護老人ホーム

美土里荘

美土里荘

家族会



89.6.27 昭和大仏見学

特別養護老人ホーム

美土里荘

〒039-25 青森県上北郡七戸町字寒水70-17

電話 0176-62-2761

美土里荘の

いまと

今後への期待

副園長
盛田 益三

「はんの木だより」第三号の発行
おめでとうございます。

未だ未だ充分な内容とは言いがたい
ところがありますが、広報担当者の
苦勞と努力は並大抵のものではなく
心中察するに余りあります。

今後の益々の内容の充実と発展を
心から期待しております。

さて当施設も昭和六十三年六月一
日に開設して以来、早一年を経過し
ました。

振り返って見ると、あつと言う間
に過ぎた様でもあり、また逆に長か
った様な一年でもありました。

各職種の職員共、殆んどの人がい
わば素人でスタートした事を考える

と、一年を経過した今、合格点を付
けられると私は思っています。

各職種の職員とも当初に比べれば
格段の進歩をとげていると確信して
います。

ただ合格点が六十点だとすれば未
だ四十パーセントの可能性を残して
いる事になり、今後はその残存部分
に大きな期待がかかってくる訳です。

さて次に環境整備についてですが
車庫兼物置、物干場が完成、大いに
利用して下さい。

また理事長が、居室前を万葉植物
園にしたいとの意向を持っており、
自費でその植物を買い集めたり、自
分の庭から一部移植したり、徐々に
ではありますが、居室前に数十本の
苗木が植えられています。

今直ぐと言う訳にはいかないでし
ようが、完成すれば充分利用者の方
々の目を楽しませる事が出来るもの
になる事と思います。

処遇の方につきましては、職員関
係では、各種の大会や、研修にも積
極的に参加してもらうようにし、職
員の資質向上に努めると共に、施設
内での研修も強化していきたいと思
います。

利用者の方々については、旅行や
行事関係の内容を充実させ、中身の

濃いものにして行きたいと思えます。

直接処遇に於いては、新年度から
痴呆対策委員会やオムツ外し検討委
員会のプロジェクトチームをつくり
対処しているが空回りにならない様
留意して欲しいし、又、クラブ活動
も徐々に進展してきており、今後、
更なる中身の充実と、幅の広さ（新
クラブ増設等）を期待しています。

食事については、行事食の他に、
選択食、希望食も一部取り入れられ
ており、これに食事時間の改善等も
含めて、より楽しいものにして行っ
てほしいものです。

入浴は、今、火・金曜日の週二回
ですが、一般浴については、火・金
の間希望者は入浴できる様になって
いますが、今後は更に進め、夜間入
浴も含め、入浴時間の検討もしてい
って欲しいと思います。

昨年度は、地域住民の寝た切りの
方をかかえた家庭を中心に介護教室
を実施しておりますが、これに加え
今年度は、短期保護事業と、相談業
務を取り入れました。更に在宅事業
の充実も計って行く方針です。

地域住民との交流については、昨
年度、運動会や盆おどり大会には、
大勢の家族や地域の方に来ていただ
き、利用者と共に楽しんでいただき

ましたが、今年度は、更に中身の充
実を計っていききたいと思っています。

さて、食事、入浴、排泄が三大介
護と言われていますが、これはあく
まで基本であり、これだけをやって
いれば良いと言うことではありませ
ん。と言うことは、全く感情の問題
が除外されており、これに心がブラ
スされ、利用者の気持ちと職員の心
が合致し、初めて本当の処遇が出来
るのではないのでしょうか。「利用者
の気持ち」「職員の心」と表現をな
ぜ別にしたか良く考えて欲しいと思
います。

私が以前勤めていた会社の先輩の
言葉をここに紹介し、結びにいたし
ます。

「その心は行動となり、その行動
は習慣となり、その習慣は品性とな
る。」

この言葉は、処遇に当てはめてみ
ると、正にピッタリと来るものがある
のを感じない訳にはいきません。
職員は、この訓話を常に頭の中に
置き、処遇にあたってもらえるなら、
必ずや利用者の満足のいく施設にな
ると思います。

一流の施設、一流の職員をめざし
職員一丸となって努力していきましょ
う。



家族会々長

田中 謙一

母を

入所させて

“おもうこと”

昨年六月六日は、母（九十四才）を美土里荘に入所させる日でした。わたしども夫婦は、持病のために、母の看護ができませんでした。思案の上での措置だった筈なのに、詫びる思いが一気に湧きでたのです。それは、人生（母）に寄せる限りない哀れみと、子供としての不甲斐なさをいやという程感じたからです。以来、時折り母を訪ねることによって、私の考え方が変わりました。施設、設備の完備、栄養のバランスがとれた食事が用意されていること、

常に適温と清潔が保たれて、いつもさっぱりとした利用者が見られたこと、それに名医、藤嶋先生が常勤されておられるのも心強い限りです。勤務なされるみなさんは、明るい方々ばかりで、実子とおよばないほどの暖かく、そして、きめ細かい介護で本当に感謝のことばもございません。この気持ちは、家族会全員のものとして、お受けとり願いたいと思います。

私達の周りには、在宅介護が何より幸せと、美談視する風潮があります。でも、人生いつの日か、住み家として在宅もあれば、施設もあります。それぞれ、置かれた立場や、事情によって選択されてよいのではないかと、考えます。あまりしばられないで、老人に幸せを与えたいものです。美土里荘の快適な環境が、わたくしをそうさせたと思います。

“望むこと”

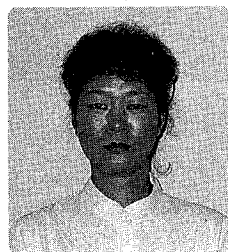
過疎が進む農村が、抱えている大きな課題は、二十一世紀はじめ人口の三割が、六十五才以上の老人で占められるということです。現在でさえ要介護老人の対策が、行き届いていません。在宅介護にしても、ある程度の家庭経済基盤や、人的条件が整

わないと、容易ではないと思います。老人問題は、国と家庭両面からの対応が求められます。国は、どうにもならない家庭のために、是非とも施設の増設等々の福祉策を、推進して下さい。

青壮年の人達も、やがて我が身にも、確実にやってくる心身の減退に、生活基盤の細分化、考え方の多様化等に備えて、いささかでも、より自分を充実させ、次の世代の重い荷とならないよう、努めてほしいと思います。（七十五才の老婆心）



美土里荘に勤めて



看護婦

奈良岡信子

美土里荘が開園して早いもので一年が過ぎました。私は今まで病院での業務経験だけでしたので施設での看護職の役割、老人看護への十分な知識のないまま仕事をしていた状態でした。他施設の見学、また研修に参加し自分の目で見て耳で聞いて病院と施設での看護の考え方、姿勢、方針の違いが少しずつ分かって来たような気がします。

ホームは「生活の場」でありますので、利用者の皆さんが精一杯人生を生きられるように健康管理及びその人の残された能力が最大限に発揮できるよう援助して行きたいと思っています。そのためにはいつでも専門職としての業務の見直しとともに寮父母とのチームワークで介護、看護に務めたいと思います。

※次回、老人と食事について掲載します。お楽しみに！

利用者紹介



今回の御登場は九十四歳の白石きくゑさんです。

○天間林村字白石出身、明治二十八年一月二十五日生まれ。

十八歳で結婚し、男子一人、女子三人の四人の子供を育てあげました。耳に障害が有りますが、他は元気そのものです。

性格は、気前がよく、花が好きで花の本を毎日楽しそうに見ている、やさしいおばあちゃんです。

これから元気がんばってください。



お待たせしました。男性初登場は八十七歳の市ノ渡吉松さん。

○天間林村字堰根出身、明治三十五年四月八日生まれ。

農業に従事し、共有林の組合長も務めた事もあるという市ノ渡さん、美土里荘においても背筋をピンと伸ばし周囲を眺めながら歩く姿は、森の主の雰囲気漂わせています。山仕事だけでなく、いろんな遊びにも精通しているとか……御自慢の人生談を時折語り聞かせてくれます。

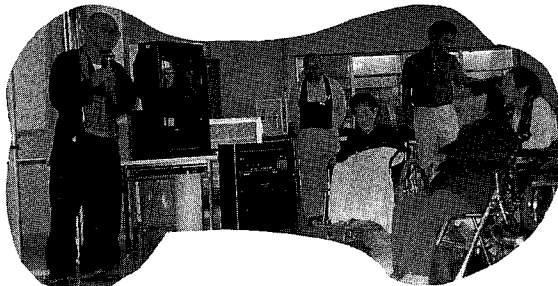
あの日この日のスナップ集



〈花見〉 天気が悪いため、ドライブになりました。

〈散歩〉

少し疲れたのでひと休み



〈慰問〉 曹洞宗の伝導者(曹洞宗)が来荘し、紙芝居など披露してくれました。

開所記念日



美土里荘もお陰様で一周年を迎えることができました。当日は開設記念日とお誕生会を兼ねて祝いました。催物として花柳流永扇会七戸支部の皆様が舞踊を披露して下さい、昼食には利用者と職員とがオードブルを囲み、楽しいひとときを過ごしました。そして、おやつは副園長より利用者ひとりとひとりにお祝いの紅白饅頭が手渡されました。一年を振り返ってみると、あっという間だった様ですが、年号も昭和から平成に変わった様に皆様のまわりでも色々な事があったことと思われます。

美土里荘利用者の家族や地域の方々とボランティアの皆様の御協力のもと、夏祭りや運動会等の大がかりな行事も行いう事ができ有難うござい

ました。
これからも職員一同、よりよい施設づくりに励みたいと思っておりますので御協力お願い致します。

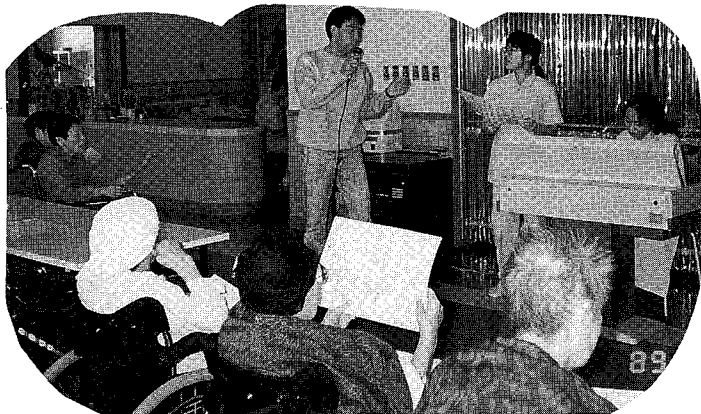


へカシス取り

わたしの方が多いわ!!

音楽クラブ

うまく唄えたかな?



短期保護

事業の実施

美土里荘では短期保護（ショートステイ）事業を実施しております。短期保護とは基本的には六十五才以上で精神的・肉体的な障害をお持ちの方が入所の対称となります。

家庭で介護されている方が冠婚葬祭やその他の理由で介護が出来なくなった場合、一時的に老人ホームに入所させる制度です。

◎申し込み先

七戸町役場 厚生福祉課

上北町役場 社会福祉課

天間林村役場 福祉課

◎期間

原則として一週間までですが、止むを得ぬ事情がある場合、期間延長が認められる場合があります。

◎費用

保護者負担金

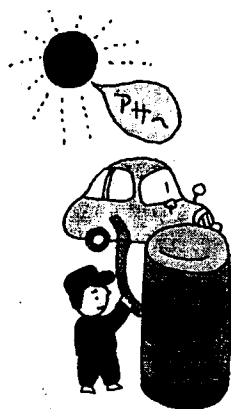
一日 一八九〇円

トクする

コーナー

☆車に入れるガソリンは温度が上がれば容積も大きくなり、冷えれば小さくなります。朝、温度の低いうちにガソリンを入れると、夜入れるよりもずっとガソリン代の検約になります。よく車を使う人なら、年間にすると数万円もトクになるのです。

☆便通の調整でお悩みの方！ グリーンジュースは如何？ 作り方は、緑の野菜（ほうれん草、セロリ、キャベツ、白菜、レタス）レモン半個、りんご一個、人参十〜二十gをざく切りにし、水百cc以上、塩小さじ三分の二〜一を入れミキサーへ。作ったらビタミンがこわれないうちに早目に飲みましょう。



これからの

行事予定！

◎9月6日 七戸祭見学

◎9月14日 敬老会

◎10月10日 運動会

御家族の皆様へ

例年になく暑さが続いておりますが御家族の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

利用者には御家族の元気なお顔を見せたら、暑さも薄らぎいっそうの笑顔が見られることでしょう。どうぞ、仕事に家事にと御多忙とは思いますが、面会にいらして下さるようお願いいたします。

編集後記

④ 寒さが苦ての私ですが、暑さも嫌いになりました。『夏をあきらめて』やっぱりに秋にします。

⑤ やっぱり文章を書くのは大変です。句読点のつけ方もよくわかりません。

⑥ なんのとリエも僕ですが、これでも『八の字まゆのひとえ』です。

⑦ 第三号より編集に加わりました。ガンバリますのでよろしく！

⑧ 初めての編集。基礎編成の大変さを知りました。次号も、がんばります。

◎

広報委員より
第三号が発行されますと、またまた次号に向けて『走り出す』皆様の身近でのステキなお話し、どうぞ広報までお知らせ下さい。